様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	八戸学院大学
設置者名	学校法人光星学院

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域経営学部	地域経営学科	夜・通信	42		26	68	13	
健康医療学部	人間健康学科	夜・通信		4	90	136	13	
	看護学科	夜・通信			135	181	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/edu-info/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	八戸学院大学
設置者名	学校法人光星学院

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校法人光星学院 Web サイト「情報の公開」に「役員名簿」を掲載している。
https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	たいよう総合法律経済事務所 顧問（弁護士）	2023.6.1～2027.5.31	コンプライアンス
非常勤	マルヨ水産株式会社 代表取締役	2023.6.1～2027.5.31	主として法人経営に関する助言
非常勤	三八五観光株式会社 顧問	2023.6.1～2027.5.31	主として法人運営・経営に関する助言
非常勤	前八戸市長	2023.6.1～2027.5.31	主として法人運営・経営に関する助言
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	八戸学院大学
設置者名	学校法人光星学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 八戸学院大学教務委員会が定めるシラバス作成要領に則り、12 月末から各担当教員が作成している。作成されたシラバスは、教務委員会にて確認し、修正が必要な場合は担当教員へ修正依頼をしている。毎年度 4 月 1 日に公表している。	
授業計画書の公表方法	下記 URL のシラバス検索から科目名など条件を入力することで閲覧できる。 https://sc06.hachinohe-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 履修終了の認定と成績評価基準は、学則第 15 条ならびに第 16 条に定められている。第 15 条では、「授業科目の履修終了の認定は、試験または論文による。ただし、実験、実習、演習および実技は、平常の成績によって認定することができる」と評価方法を定めており、第 16 条では、「秀（90 点以上）、優（80 点以上 90 点未満）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）および不可（60 点未満）とし、可以上を合格とする」という 5 段階の成績評価基準を定め、厳格かつ適正に運用している。なお、評価方法は、シラバスへ記載し、履修登録時に学生へ提示している。	
３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）
八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部グレート・ポイント・アベレージ（ＧＰＡ）規程を定め、ＧＰＡを客観的指標として運用している。ＧＰＡの分布状況は、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部教務委員会で整備し把握している。
また、八戸学院大学履修規程第 10 条に標準修得単位数を定めており、各学年終了時点で取得単位数が標準修得単位数の 6 割以下の者、ＧＰＡ値が所属する学科の同学年中の順位が下位 4 分の 1 の者については警告対象としている。
なお、各学期のＧＰＡ及び累積のＧＰＡは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入する。

$$\text{学期ＧＰＡ} = \frac{\text{（当該学期の履修科目のＧＰ×当該科目の単位数）の総和}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

$$\text{累積ＧＰＡ} = \frac{\text{（全学期の履修科目のＧＰ×当該科目の単位数）の総和}}{\text{全学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/edu-info/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）
各学部学科において、卒業認定・学位授与の方針を定め、公表している。卒業認定手順は、学則に則った成績評価・履修の認定を基礎資料として、学則第 4 条に定める修業年限を充たし、第 11 条に定める単位（124 単位以上または 131 単位以上）を修得した者に対して、例年 2 月下旬の教授会（卒業判定会議）で厳格に審議している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/edu-info/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	八戸学院大学
設置者名	学校法人光星学院

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/
収支計算書又は損益計算書	https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/
財産目録	https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/
事業報告書	https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/
監事による監査報告（書）	https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/kg/management/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/disclosure/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/disclosure/

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　地域経営学部地域経営学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/r-manage/spirit/）
（概要） 経営学をはじめ社会科学の学問体系の基礎を学び、地域の企業、自治体、社会等あらゆる領域において経営に携わり、地域や世界に通用する人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/r-manage/spirit/）
（概要） 1. 「読む、書く、聞く、話す、IT を用いる」ことを反復し、基本的な地域経営学の基礎と深い教養を修め、豊かな人間性と高い倫理観を身につけている。 2. 地域のあらゆる領域における経営に対して汎用力を備え、将来の進路を踏まえて自主的に課題を探求し、対応できる能力を身につけている。 3. 地域活動やフィールドワーク、国際交流等を通じて、地域産業の現状と課題を理解し、地域経営に必要な行動力、コミュニケーション能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/r-manage/spirit/）
（概要） 1. 学問を修得する基本姿勢（読む、書く、聞く、話す、IT を用いる）を身につけるために、1 年次に基礎演習、プレゼンテーション、日本語リテラシー、情報処理基礎の【導入教育】の他、豊かな人間性を涵養するために【外国語を学ぶ領域】、【人としてのあり方を学ぶ領域】、【社会のあり方を学ぶ領域】、【自然と科学を学ぶ領域】に区分するリベラルアーツを配置する。また、2 年次以降には将来の進路や学びたい領域に応じて、地域経営についての実践力を養うために、専門的な研究演習を配置する。さらに、将来の進路について自主的に考えることができるよう、各学年にキャリアデザイン科目を配置する。 2. 地域社会のあらゆる領域で経営に携わる汎用力を持った人材の育成を目指し、経営学、経済学、法学、社会学を基礎に地域経営について学ぶ「地域経営領域」、地域経営に携わるために、商業・情報の教職免許状や簿記・情報関連資格の修得を目指す「情報・会計領域」の２領域を配置する。 3. 社会で実践するための汎用力を養うために、地域経営を学ぶ上で必要な各社会科学の入門科目である必修科目、必修科目に続く基礎的内容の科目としての基幹科目、必修科目もしくは基幹科目を基にさらに専門性を高めた選択専門科目を、科目の順序性を考慮して配置する。また、地域活性化システム論、地域イノベーション・マネジメントを配置し、授業を通じて地域活動やフィールドワークを行うことで、地域産業の現状と課題を理解させる。さらに、海外事情の授業や語学を学ぶための短期海外留学の実施により学生の国際交流を促進し、積極性を身につけさせる。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/r-manage/spirit/）
（概要） 地域社会の様々な経営に関して、強い興味・関心と主体的に学ぶ意欲を有し、国際感覚を養い、地域社会についての課題を自ら発見・検討し、解決策を見つけ、実践しようとする意志を持っている人を受け入れる。 1. 地域社会に関する様々な経営に関して、強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有している。 2. 国際感覚を養い、地域社会の実課題に自ら取り組もうとする強い意欲を有している。 3. 資料や文章を読む「読解力」を有し、自分の理解や考えを口頭や文章、プレゼンテーションにより適切に表現する「表現力」などの基本的なコミュニケーション能力を有している。

4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」のほかに、「地理歴史」、「公民」および「情報」の教科について、十分な基礎学力を身につけている。

学部等名　健康医療学部人間健康学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-human/spirit/）
（概要） こころとからだの健康と医療についての学びをふまえ、幅広い分野の研究・指導・実践ができ、地域住民の健康増進と地域の保健医療の向上に貢献できる人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-human/spirit/）
（概要） 1. 豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけている。 2. こころとからだの健康に関する学問の基礎を理解し、学修した知識と技術を活用して現代社会が求める健康ニーズに対応できる能力を身につけている。 3. 医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野において、自らの課題を明確にして、課題探究に取り組む主体的姿勢を身につけている。 ４．地域の社会・文化・歴史を踏まえ、地域の特性や大切さを理解している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-human/spirit/）
（概要） 1. 豊かな人間性と高い倫理観、判断力、行動力、自主的な課題探究、コミュニケーション能力、地域文化の理解を養うために、建学の精神に関する科目、基礎演習、日本語リテラシー、情報処理基礎、語学、地域文化論等の必修科目を含む多様なリベラルアーツ科目を配置する。 2. こころとからだに関する健康科学の教養を獲得するための学科必修科目と、医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野の基礎と実践力を身につける学科選択科目、将来の進路について自主的に考えるためのキャリアデザイン科目を配置する。 3. 現代社会の健康ニーズに対応できる能力の育成を目指し、「スポーツ科学コース」と「健康科学コース」の２コースをおき、資格・免許の取得のために「スポーツ科学コース」には「教育職プログラム（保健体育）」、「トレーニング指導者プログラム」、「健康科学コース」には「教育職プログラム（養護・保健・看護）」、「認定心理士プログラム」「社会福祉士プログラム」をおく。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-human/spirit/）
（概要） 深い教養とリテラシー、こころとからだに関する学問領域に強い興味と関心を持って主体的に学ぶ意欲を有し、医学・体育・心理・看護・福祉・環境・栄養等の幅広い分野の学びを通じて、現代社会が求める健康ニーズに先駆的に取り組んでいこうという強い意志、探究心を持っている人を受け入れる。 1. 深い教養とリテラシー、こころとからだに関する学問領域に強い興味と関心を持って、主体的に学ぶ意欲を有している。 2. 現代人の健康ニーズに先駆的に取り組んでいこうという強い意志を持っている。 3. 高等学校までの履修内容のうち日本語能力の基礎的な内容を身につけている。 4. 「教育職（保健体育）（養護・保健・看護）」、「トレーニング指導者」、「コーチングアシスタント」、「認定心理士」、「社会福祉士」の資格取得を目指している。 5. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」のほかに、「科学と人間生活」、「生物基礎」、「生物」のいずれか１科目を学習し、十分な基礎学力を身につけている。

学部等名　健康医療学部看護学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-nurse/spirit/）
（概要） 豊かな感性と人間性を備え、日々進歩する看護の知識や技術に対応できる能力や地域の保健医療活動、健康増進に看護の実践者として貢献できる資質の高い人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-nurse/spirit/）
（概要） 1. 豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。 2. 科学的な根拠に基づく基礎的看護ケアを実践し、多くの医療関係職種と連携・協働する中で求められる看護の役割を判断し行動する能力を身につけている。 3. 医療過疎地やへき地など地域特性を理解し、地域の看護活動に積極的に取り組むことができる基礎的な看護実践能力を身につけている。 4. 地域住民の健康特性を理解し、地域の看護活動の向上に資する基礎的研究方法を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-nurse/spirit/）
（概要） 1. 豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解するために、建学の精神に関わる科目、基礎演習、日本語リテラシー、情報処理基礎、語学、地域文化論等の必修科目を含む多様なリベラルアーツ科目を配置する。 2. 看護職に必要な基礎的知識や実践能力を養うために、専門導入科目と専門基礎科目をおき、「人間と健康」「環境と健康」の２領域を設ける。 3. 看護師・保健師としてのものの見方や考え方、基本的な看護技術、看護倫理、多様な場での看護実践と研究方法を身につけるため、専門科目と看護の研究をおき、「看護の基本」、「看護の展開」、「看護の統合」、「公衆衛生看護」、「看護の研究」の５領域を設ける。 4. 看護師・保健師の国家試験受験資格を取得するため、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の教育内容を踏まえた教育課程編成とする。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-nurse/spirit/）
（概要） 看護師・保健師になる強い意志を持ち、将来において医療関係職種の一員として主体的に行動し、地域の看護活動に携わる高い意欲のある人を受け入れる。 1. 人間を理解し、共感する知性と感性を磨き、援助的人間関係を築こうとする意欲を有する。 2. 看護師・保健師としてのものの見方や考え方、基本的な看護技術、看護倫理、多様な場における看護実践を主体的に学ぶ意欲を有する。 3. 多くの医療関係職種と連携・協働して、地域の看護活動に貢献する基礎的研究方法を身につけようとする意欲を有する。 4. 高等学校における「国語」、「数学」、「外国語（英語）」を学習し、十分な基礎学力を身につけている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	1 人	－					1 人
地域経営学部		14 人	5 人	2 人	1 人	0 人	22 人
健康医療学部	－	16 人	10 人	11 人	5 人	2 人	44 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	51 人	51 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法： 地域経営学部：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/r-manage/teacher/ 健康医療学部人間健康学科：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-human/teacher/ 健康医療学部看護学科：https://www.hachinohe-u.ac.jp/faculty/h-nurse/teacher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
地域経営学部	80 人	83 人	103.8%	320 人	341 人	106.5%	若干名	1 人
健康医療学部	180 人	137 人	76.1%	680 人	643 人	94.5%	若干名	3 人
合計	260 人	220 人	84.6%	1000 人	984 人	98.4%	若干名	4 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
地域経営学部	63 人 (100%)	0 人 (0%)	59 人 (94%)	4 人 (6%)
健康医療学部	140 人 (100%)	3 人 (2.1%)	129 人 (92%)	8 人 (5.7%)
合計	203 人 (100%)	3 人 (1.5%)	188 人 (93%)	12 人 (5.9%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
毎年、八戸学院大学教務委員会が定めるシラバス作成要領に則り、各担当教員が作成している。作成されたシラバスは、教務委員会にて確認し、修正が必要な場合は担当教員へ修正依頼をしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
履修終了の認定と成績評価基準は、学則第 15 条ならびに第 16 条に定められている。第 15 条では、「授業科目の履修終了の認定は、試験または論文による。ただし、実験、実習、演習および実技は、平常の成績によって認定することができる」と評価方法を定めており、第 16 条では、「秀（90 点以上）、優（80 点以上 90 点未満）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）および不可（60 点未満）とし、可以上を合格とする」という 5 段階の成績評価基準を定め、厳格かつ適正に運用している。なお、評価方法は、シラバスへ記載し、履修登録時に学生へ提示している。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
地域経営学部	地域経営学科	124 単位	有・無	単位
健康医療学部	人間健康学科	124 単位	有・無	単位
	看護学科	131 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/edu-info/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 （年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
地域経営学部	地域経営学科	670,000 円	270,000 円	446,000 円	その他内訳 教育費 336,000 円 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費：20,000 円 諸会費：90,000 円 ※ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費は初年次のみ徴収
健康医療学部	人間健康学科	670,000 円	270,000 円	456,000 円	その他内訳 教育費 346,000 円 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費：20,000 円 諸会費：90,000 円 ※ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費は初年次のみ徴収
	看護学科	800,000 円	270,000 円	764,000 円	その他内訳 教育費 346,000 円 実習教育費：240,000 円 ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費：20,000 円 教材諸経費：68,000 円 諸会費：90,000 円 ※※ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ活動費と教材諸経費は初年次のみ徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・学生窓口（ワンストップサービス） 大学１号館教学事務室内の学生窓口では、各種届出、各種証明書の申し込みの他、勉強のこと、生活のことなど、学生の相談に学生支援員が幅広く応じている。 受付時間　8:40～16:30（月～金曜日）※祝日を除く ・オフィスアワー 先生ごとに、必ず在室する曜日と時間を決めておく「オフィスアワー」を設けている。勉強のこと、就職のこと、その他なんでも、先生が質問や相談に応じてくれる。人生の先輩としていろいろ話を聞くのも有意義である。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 学生は１年次からゼミに所属するので、ゼミ担当の先生とは早くからキャリアプランについてコミュニケーションをとり、授業選択や資格取得についても細かいアドバイスがもらえる。キャリア支援課は、広いネットワークを駆使して就活イベントを開催したり、情報を集めて提供している。また、個別の相談にもきめ細かく対応している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・保健室 学生の急な体調不良や怪我の応急処置に対応している。また、健康について保健室の先生に相談したり、身長や体重の測定をしたりすることもできる。 ・学生相談室 学業・心身の健康・進路・対人関係などの悩みに直面した時に、いつでも相談に応じられるよう「学生相談室」を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.hachinohe-u.ac.jp/univ/edu-info/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F102310100649
学校名	八戸学院大学
設置者名	学校法人光星学院

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		189人	182人	190人
内訳	第Ⅰ区分	107人	92人	
	第Ⅱ区分	51人	63人	
0	第Ⅲ区分	31人	27人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				190人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	3人		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	6人		
計	9人		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	3人
３月以上の停学	0人
年間計	3人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人		
ＧＰＡ等が下位４分の１	8人		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	3人		
計	11人		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。